



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 株式会社 ニッキ
コード番号 6042 URL <http://www.nikkinet.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 和田 孝
(氏名) 田中 宣夫

TEL 046-285-0227

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,208	9.9	1,104	25.8	1,430	28.0	1,142	74.5
2023年3月期第3四半期	6,559	4.2	878	14.1	1,117	23.1	654	18.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,483百万円 (98.0%) 2023年3月期第3四半期 749百万円 (28.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	617.95	—
2023年3月期第3四半期	341.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	20,980	11,185	53.2	6,022.04
2023年3月期	20,276	9,829	48.4	5,318.94

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 11,159百万円 2023年3月期 9,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	△6.9	850	△27.3	1,000	△28.9	1,650	87.9	892.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	2,000,000 株	2023年3月期	2,000,000 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	146,936 株	2023年3月期	156,436 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	1,849,370 株	2023年3月期3Q	1,919,442 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ後の経済活動の正常化が一段と進み、設備投資や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調を維持したものの、資源・原材料価格の高騰、物価上昇の長期化、為替相場の急激な変動等の影響もあり、依然として予断を許さない状況が続いております。

また、世界経済は、ウクライナや中東地域をめぐる情勢不安、長期化する世界的な金融引き締めの影響、中国経済の先行き懸念等の海外経済の下振れ要因も並存しており、先行きは一段と不透明感を増しております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は、北米市場向け販売が、第3四半期以降は在庫調整の影響等もあり一時的に落ち込んだものの、第2四半期までは堅調に推移したこと等により、連結売上高は72億8百万円（前年同期比9.9%増加）となりました。

損益につきましては、売上高の増加や為替相場が想定よりも円安基調で推移したこと等により、営業利益は11億4百万円（同25.8%増加）、経常利益は14億3千万円（同28.0%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億4千2百万円（同74.5%増加）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間において、株式会社神奈川精工の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことにより、当第3四半期連結会計期間より報告セグメントとして新たに「産業機器事業」を追加しております。また、「産業機器事業」については、前年同四半期連結累計期間の実績がないため、比較情報を記載しておりません。

ガス機器事業は、受託実験の増加や中国市場向け製品の販売増加等により、売上高は25億6千1百万円（同5.8%増加）となりましたが、新商品の立上げに伴う投資負担等もありセグメント利益は2億3千9百万円（同27.9%減少）となりました。

汎用機器事業は、主要マーケットである米国市場の販売増加等により、売上高は33億5千2百万円（同8.2%増加）、セグメント利益は7億3千8百万円（同133.7%増加）となりました。

自動車機器事業は、フォークリフト向けキャブレターの販売増加等により、売上高は6億8千4百万円（同9.0%増加）となりましたが、電動系新商品の開発費の先行負担等もありセグメント損失は2億8百万円（前年同期は8千2百万円の損失）となりました。

産業機器事業は、売上高は1億7千万円、セグメント利益は4百万円となりました。

不動産賃貸事業は、売上高は4億3千9百万円（同6.5%増加）、セグメント利益は3億3千万円（同5.8%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は209億8千万円と、前連結会計年度末と比べて7億3百万円増加しました。主な増減項目は、のれんの増加（7億8千8百万円）、仕掛品の増加（2億5千8百万円）、建設仮勘定の増加（2億5千8百万円）、投資有価証券の増加（1億9千8百万円）、現金及び預金の減少（5億8千4百万円）、売掛金の減少（1億5千万円）、その他流動資産の減少（1億1千7百万円）であります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は97億9千5百万円と、前連結会計年度末と比べて6億5千2百万円減少しました。主な増減項目は、未払法人税の増加（2億1千万円）、短期借入金の増加（1億1千万円）、その他固定負債の減少（3億9千5百万円）、長期借入金の減少（2億5千6百万円）、設備関係支払手形の減少（1億6千3百万円）、退職給付に係る負債の減少（8千2百万円）であります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は111億8千5百万円と、前連結会計年度末と比べて13億5千5百万円増加しました。主な増減項目は、利益剰余金の増加（9億9千4百万円）、為替換算調整勘定の増加（2億4千万円）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月29日に「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、通期の連結業績予想につきましては、売上高は前回予想値を若干上回る見込みとなりました。また、損益面は、売上高の増加や為替相場が想定よりも円安基調で推移していることに伴う利益率の改善効果等により、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回予想値（2023年10月27日公表）を上回る見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,675,856	4,091,196
売掛金	1,737,785	1,587,580
電子記録債権	187,488	171,854
商品及び製品	1,464,870	1,399,385
仕掛品	1,144,668	1,402,847
原材料及び貯蔵品	95,294	96,678
その他	450,775	333,204
貸倒引当金	△4,292	△3,718
流動資産合計	9,752,447	9,079,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,460,564	6,375,112
機械装置及び運搬具（純額）	600,609	618,943
建設仮勘定	1,052,886	1,311,752
その他（純額）	701,292	724,411
有形固定資産合計	8,815,352	9,030,220
無形固定資産		
のれん	—	788,857
その他	52,861	52,787
無形固定資産合計	52,861	841,644
投資その他の資産		
投資有価証券	1,531,697	1,730,500
その他	124,578	299,060
投資その他の資産合計	1,656,276	2,029,560
固定資産合計	10,524,491	11,901,426
資産合計	20,276,939	20,980,455
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	399,017	402,729
電子記録債務	401,670	404,780
短期借入金	3,509,188	3,619,188
未払法人税等	14,314	224,625
賞与引当金	144,922	76,728
設備関係支払手形	194,190	30,750
その他	498,389	486,415
流動負債合計	5,161,691	5,245,217
固定負債		
長期借入金	3,858,554	3,601,663
退職給付に係る負債	450,529	367,530
その他	976,442	580,699
固定負債合計	5,285,525	4,549,892
負債合計	10,447,217	9,795,109

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	49,175	49,175
利益剰余金	8,489,291	9,483,897
自己株式	△327,669	△307,771
株主資本合計	8,710,797	9,725,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	804,325	904,322
為替換算調整勘定	291,189	531,516
退職給付に係る調整累計額	△504	△1,920
その他の包括利益累計額合計	1,095,010	1,433,917
非支配株主持分	23,913	26,125
純資産合計	9,829,721	11,185,345
負債純資産合計	20,276,939	20,980,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	6,559,769	7,208,405
売上原価	4,469,278	4,851,868
売上総利益	2,090,490	2,356,536
販売費及び一般管理費	1,212,220	1,251,891
営業利益	878,269	1,104,645
営業外収益		
受取利息	15,342	22,879
受取配当金	44,633	47,529
為替差益	198,654	296,095
その他	13,021	14,873
営業外収益合計	271,652	381,377
営業外費用		
支払利息	32,342	54,507
その他	6	766
営業外費用合計	32,348	55,273
経常利益	1,117,573	1,430,749
特別利益		
固定資産売却益	391,444	715
違約金収入	—	90,396
特別利益合計	391,444	91,111
特別損失		
固定資産除売却損	114,127	1,150
環境対策費	34,380	—
本社移転費用引当金繰入額	248,207	—
本社移転費用	161,719	—
その他	—	4,664
特別損失合計	558,434	5,814
税金等調整前四半期純利益	950,582	1,516,046
法人税等	295,557	372,902
四半期純利益	655,025	1,143,143
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	334
親会社株主に帰属する四半期純利益	654,985	1,142,809

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	655,025	1,143,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△102,697	99,997
為替換算調整勘定	206,806	242,203
退職給付に係る調整額	△9,499	△1,416
その他の包括利益合計	94,610	340,784
四半期包括利益	749,635	1,483,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	747,186	1,481,716
非支配株主に係る四半期包括利益	2,449	2,211

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、株式取得により株式会社神奈川精工を子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	ガス機器 事業	汎用機器 事業	自動車機 器事業	不動産賃 貸事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
日本	1,862,548	101,545	401,155	—	2,365,249	—	2,365,249
米国	292,720	2,829,183	7,633	—	3,129,538	—	3,129,538
中国	104,323	155,193	683	—	260,201	—	260,201
韓国	61,839	7,103	548	—	69,491	—	69,491
その他	99,282	5,336	217,743	—	322,361	—	322,361
顧客との契約から生 じる収益	2,420,715	3,098,363	627,763	—	6,146,842	—	6,146,842
その他の収益	—	—	—	412,927	412,927	—	412,927
外部顧客への売上高	2,420,715	3,098,363	627,763	412,927	6,559,769	—	6,559,769
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,420,715	3,098,363	627,763	412,927	6,559,769	—	6,559,769
セグメント利益又は損 失(△)	332,470	315,802	△82,920	312,918	878,269	—	878,269

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	ガス機器 事業	汎用機器 事業	自動車機 器事業	産業機器 事業	不動産賃 貸事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高								
日本	1,822,448	103,871	429,489	170,172	—	2,525,981	—	2,525,981
米国	313,754	3,093,628	34,616	—	—	3,441,998	—	3,441,998
中国	175,886	123,154	—	—	—	299,041	—	299,041
韓国	115,494	21,129	474	—	—	137,097	—	137,097
その他	134,128	10,603	219,905	—	—	364,637	—	364,637
顧客との契約から生 じる収益	2,561,712	3,352,386	684,485	170,172	—	6,768,756	—	6,768,756
その他の収益	—	—	—	—	439,649	439,649	—	439,649
外部顧客への売上高	2,561,712	3,352,386	684,485	170,172	439,649	7,208,405	—	7,208,405
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,561,712	3,352,386	684,485	170,172	439,649	7,208,405	—	7,208,405
セグメント利益又は 損失(△)	239,736	738,012	△208,209	4,141	330,964	1,104,645	—	1,104,645

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 第2四半期連結会計期間において、株式会社神奈川精工の株式取得により子会社化したため、連結の範囲に含めております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間において、株式会社神奈川精工の株式取得により子会社化したため、連結の範囲に含めております。これに伴い、当第3四半期連結会計期間より「産業機器事業」を新たに報告セグメントに追加しております。なお、第2四半期連結会計期間は、貸借対照表のみを連結しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失の認識)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、株式会社神奈川精工の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことにより、「産業機器事業」にてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの金額は、当第3四半期連結累計期間においては788,857千円であります。

(重要な負ののれんの発生益の認識)

該当事項はありません。